

大雪の候、朝晩の空気の冷たさに、一気に寒さを感じるようになってまいりました。さて、インフルエンザに罹った児童・学生の増加で学級閉鎖という記事を目にする機会も増えて参りました。手洗い、うがい等の励行、体調が悪いときは休養をとるなど体調管理に気をつけていきたいものです。

## ダイバーシティ推進講習会を開催

令和 5年11月 7日（火）に全員参加型FD講習会として「令和 5年度ダイバーシティ推進講演会」を、慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授ならびに、慶応義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長の前野 隆司先生と、東北大学副学長の大隅 典子先生のお二方を講師としてお迎えし、福島県立医科大学講堂および、Web参加方式により開催されました。

まず『ダイバーシティとウェルビーイング～職場のウェルビーイングをもたらすものは何か?!～』と題し、前野先生から「幸せに働くための良好な状態（Well-being）」や「幸せの4つの因子」、「多様な人材を包み込む社会（DE&I）」などについて講演いただきました。

続いて、『無意識のバイアスの払拭』と題し、大隅先生からは小さいころからの「刷り込み」や、「無意識の差別・偏見」などについてデータを基に女性研究者を取り巻く環境などについて講演いただきました。

講演後のアンケートでは、「ウェルビーイングについて大変わかりやすかった」、「心理学的な側面からの幸福と多様性を認める社会の関連について興味深かった」、「無意識のバイアスは、日常的に無意識に植え付けられていることに気付きました」、「無意識のバイアスというものについて、払拭するのは難しいかもしれないが、常に意識するよう心掛けたいと思った」など、多くの感想が寄せられました。

参加者 合計189名（会場・Web参加）



前野 隆司先生



大隅 典子先生

## 女性医師・研究者座談会カフェ開催

11月16日（木）に「女性医師・研究者のキャリア形成を考える座談会カフェ」をオンラインで開催しました。『子育てしながらの職場復帰』というテーマに対し、男性からの参加応募もあり“育児と仕事（研究）の両立”への関心の高さも伺えました。

自己紹介も済み、仕事（研究）と育児の両立を図るうえで、限られた時間をどのように使っているか聞きたい、育児・家事代行などの様々なサービスをどのように使っているかなどが話題に上りました。育児と仕事（研究）の両立のために工夫していること、実際にサービスを利用した感想や内容に関する質問など女性・男性問わず会話が続き、和やかな雰囲気の中座談会は終了しました。

## キャリアサポート交流会開催

9月29日（金）「FMUキャリアサポート交流会」を開催しました。広島大学医学部附属 医学教育センター教授 蓮沼直子先生をお迎えし「ハラスメント防止とアンガーマネジメント」と題した講演をいただきました。また、本学からは麻酔科学講座助手 花山千恵先生、医学部の学生に講演いただきました。

参加者からは「アンガーマネジメントは現状のわたしの人生の課題だったので勉強になりました」、「女性医師の働き方参考になる内容でした」などの感想が届きました。



参加者 合計49名  
（会場24名、Web25名）

## キャリアアップセミナーを開催

11月22日(水)に「FMUキャリアアップセミナー」を開催致しました。本セミナーは会場とWeb参加によるハイブリッド開催となり、合計50名の教職員、大学院生、学生が参加されました。

講師には本学衛生学・予防医学講座准教授各務竹康先生(写真)をお迎えし、『いまさら聞けない基礎統計学4～変数を理解しよう～』と題して、基本的な多変量解析の仕組みについてご説明いただきました。

講演では、「解析に用いるデータの性質の違い、意味」や「単変量解析、2変量解析について」、また、「どのような解析を選ぶか迷ったときには専門家に聞くのが一番の近道である」などアドバイスしていただきました。参加者からは「書籍に掲載されていない実践に沿った事項を学べ、頭の中が整理出来ました」、「多変量解析を分かり易い言葉で説明



して頂き理解が深まりました」といった意見が寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

## 10月は「男女共同参画推進月間」でした

本学では、毎年10月を「男女共同参画推進月間」として、ダイバーシティ(多様性)へのご理解と、職場内での意識の改革を促進するため、推進員でもある各所属長主催による<職場内研修会>を開催していただきました。みなさまのご理解とご協力に深く感謝いたします。

これからも「ダイバーシティ推進マニュアル」の読み合わせなどを通じて、所属単位でダイバーシティ推進についての意識浸透を図っていただきたいと思います。

## 「研究支援員の配置に係る要望調査」のご案内について

本学ではライフイベント(出産・育児・介護・看護等)を抱えた教員の研究支援を行っております。

令和6年度、上半期配置分の要望調査を行います。

### ◆対象者

本学に所属する助手以上の常勤教員のうち、本人が以下のいずれかの要件を満たすもの。

- ①本人もしくは配偶者が妊娠中
- ②家庭において小学校6年生までの児童の養育者
- ③同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の介護者
- ④その他、上記に準ずる(家族の看病をしている等)状況にあること

### ◆支援を希望される方

11月下旬に、デスクネッツへ掲載しております。ご確認ください。

### ◆支援期間

令和6年4月1日～令和6年9月30日

## ◆用語解説◆ 『DE&I』

多様な人が働く組織の中で、それぞれの人にとって合った対応をすることで、それぞれがいきいきと働き、成果を出し続けるための考え方とされています。

「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」の語句を分解すると、以下のように訳されます。

ダイバーシティ：多様性  
エクイティ：公平/公正性  
インクルージョン：包摂性

それぞれの人に対して、サポートの工夫ができていくかということの重要性に社会全体がシフトしてきています。これが、Equity(公平性)という考え方です。

出典：【公益財団法人日本生産性本部】  
HPより一部抜粋 詳しくは→



福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

## 福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

E-mail: [gendeqsp@fmu.ac.jp](mailto:gendeqsp@fmu.ac.jp) / Tel: 024-547-1657 (内線: 2807) / HP: <https://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>  
ダイバーシティ推進室長 小宮 ひろみ